

財務報告書 2024

令和 5 事業年度

令和5年4月1日～令和6年3月31日



札幌医科大学

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

目次

1. 財務概要	…P1
2. 令和5事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P8
4. 財務指標（年度間比較）	…P16
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P17
(2) 損益計算書	…P20

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は、令和5年度末における財務状態を表したものです。
 「資産」は前年度比54億円減少の696億円、「負債」は前年度比37億円減少の115億円、また「純資産」は前年度比17億円減少の581億円となっています。

貸借対照表

【令和6年3月31日】

(単位：億円)

区分	4年度	5年度	増減
資産の部	750	696	▲ 54
【固定資産】	613	592	▲ 21
土地	119	119	0
① 建物等	427	415	▲ 12
② 工具器具備品	57	50	▲ 7
図書	8	7	▲ 1
その他固定資産	2	2	0
【流動資産】	137	104	▲ 33
③ 現金・預金	53	41	▲ 12
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	84	63	▲ 21
資産合計	750	696	▲ 54

区分	4年度	5年度	増減
負債の部	152	115	▲ 37
⑤ 資産見返負債	35	0	▲ 35
⑥ 長期繰延補助金等	0	10	10
借入金	15	14	▲ 1
⑦ 未払金	60	48	▲ 12
寄附金債務	13	15	2
⑧ その他負債	29	27	▲ 2
純資産の部	598	581	▲ 17
資本金	610	610	0
⑨ 資本剰余金	▲ 76	▲ 85	▲ 9
⑩ 利益剰余金	64	56	▲ 8
負債・純資産合計	750	696	▲ 54

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：415億円（12億円減少）

- ・ 減価償却等による減
- ・ 道無償譲渡（構築物）による増
- ・ 建物改修による増

②工具器具備品：50億円（7億円減少）

- ・ 減価償却による減
- ・ 新規取得による増

③現金・預金：41億円（12億円減少）

- ・ 目的積立金取崩による減

④その他の流動資産：63億円（21億円減少）

- ・ 基金・国保未収分の減
- ・ 医薬品・診療材料の在庫量の減

負債の部

⑤資産見返負債：0億円（35億円減少）

- ・ 会計基準改訂の処理による減

⑥長期繰延補助金等：10億円（10億円増加）

- ・ 資産見返負債からの移行分
- ・ 減価償却による減

⑦未払金：48億円（12億円減少）

- ・ 翌年度支払予定の未払金の減

⑧その他負債：27億円（2億円減少）

- ・ 支払いによるリース債務の減
- ・ 資産除却債務の見積額変更による減

純資産の部

⑨資本剰余金：▲85億円（9億円減少）

- ・ 減価償却による減
- ・ 資産取得による増

⑩利益剰余金：56億円（8億円減少）

- ・ 目的積立金取崩しによる減
- ・ 当期純利益による増

費用・収益の状況

「損益計算書」は、令和5年度の運営状況（経営成績）を表したものです。
 「経常費用」は前年度比14億円増加の407億円、「経常収益」は前年度比11億円減少の386億円です。
 この差額に臨時損益、目的積立金取崩を加えた「当期総利益」は、前年度比3億円増加の11億円です。

損益計算書

【令和5年4月1日～令和6年3月31日】

(単位：億円)

区分	4年度	5年度	増減
教育・研究等経費	23	27	4
① 診療経費	194	204	10
受託研究・事業費	4	5	1
② 人件費	165	166	1
一般管理費	7	6	▲1
財務費用	0	0	0
経常費用	393	407	14
臨時損失	0	2	2
臨時利益	0	22	22
目的積立金取崩	4	13	9
当期総利益	8	11	3

区分	4年度	5年度	増減
③ 運営費交付金収益	69	78	9
④ 附属病院収益	264	271	7
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	10	11	1
⑤ 補助金収益	33	11	▲22
その他収益	14	8	▲6
経常収益	397	386	▲11

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

① 診療経費：204億円（10億円増加）

- ・医薬品費等の増
- ・機器関連費の増
- ・水道光熱費の減

② 人件費：166億円（1億円増加）

- ・給与改定による増
- ・看護師処遇改善による増
- ・退職手当の減

経常収益

③ 運営費交付金収益：78億円（9億円増加）

- ・運営費交付金の受入額の増

④ 附属病院収益：271億円（7億円増加）

- ・入院診療収益の増
- ・外来診療収益の増

⑤ 補助金収益：11億円（22億円減少）

- ・新型コロナウイルス関連補助金の減
- ・物価高騰対策支援関連補助金の減
- ・長期繰延補助金の増

○令和5事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	59,237
1	有形固定資産	59,098
	土地	11,881
	建物	40,340
	構築物	1,122
	工具器具備品	4,970
	図書	734
	その他	51
2	無形固定資産	83
	特許権	19
	商標権	4
	意匠権	0
	ソフトウェア	25
	その他	35
3	投資その他の資産	56
	破産更生債権等	30
	長期貸付金	26
	その他	0
II	流動資産	10,388
	現金及び預金	4,053
	未収学生納付金収入	2
	未収附属病院収入	5,170
	有価証券	-
	医薬品及び診療材料	630
	棚卸資産	14
	未収金	482
	その他	37
	資産合計	69,625
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	3,286
	長期繰延補助金等	1,031 ※1)
	長期寄附金債務	419
	長期借入金	1,432
	退職給付引当金	8
	長期未払金	271
	資産除去債務	124
II	流動負債	8,245
	運営費交付金債務	333
	寄附金債務	1,519 ※2)
	前受受託研究費等	497
	一年以内返済長期借入金	594
	未払金	4,843 ※3)
	その他	459
	負債合計	11,530

純資産の部		
I	資本金	61,021 ※4)
II	資本剰余金	▲ 8,545 ※5)
III	利益剰余金	5,618
	前中期目標等期間繰越積立金	2,064 ※6)
	目的積立金	1,452
	積立金	1,001
	当期末処分利益	1,101
	純資産合計	58,094
	負債・純資産合計	69,625
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済又は支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

※1) 長期繰延補助金等～補助金を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。

※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰り越しされる寄附金の残高です。

※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金その他の未払金です。

※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。

※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産又は非償却資産の取得時に、相当額を計上します。

当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。

※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰越しが認められた剰余金です。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	経常費用	40,715
	業務費	40,131
	教育経費	638
	研究経費	1,542
	診療経費	20,356
	教育研究支援経費	523 ※1)
	受託研究費	345
	共同研究費	33
	受託事業費等	106
	人件費	16,589
一般管理費	580	
財務費用	4 ※2)	

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・「受託研究費」「共同研究費」「受託事業費等」は、受託研究等に係る人件費を含む

収益	経常収益	38,553
	運営費交付金収益	7,782
	授業料等収益	807
	附属病院収益	27,060
	受託研究収益	441
	共同研究収益	37
	受託事業等収益	111
	寄附金収益	486
	施設費収益	43
	補助金等収益	1,060
	財務収益	1
	雑益	724

【経常収益】

- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

経常利益 ▲ 2,162

臨時損失 188

臨時利益 2,166

当期純利益 ▲ 184

前中期目標等期間繰越(目的)積立金取崩額 1,285

当期総利益 1,101

【臨時損失】

- ・臨時損失は、固定資産除却等を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー		1,369
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 21,033	
人件費支出	▲ 16,882	
その他の業務支出	▲ 724	
運営費交付金収入	7,737	
授業料収入	650	
入学金収入	84	
検定料収入	15	
附属病院収入	27,173	
受託研究収入	458	
共同研究収入	47	
受託事業等収入	113	
補助金等収入	2,224	
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 14	
寄附金収入	654	
科学研究費助成事業等預り金の増加	15	
その他収入	851	

【業務活動】
教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 14億円

II 投資活動によるキャッシュ・フロー		▲ 1,608
有価証券の取得による支出	▲ 366	
有価証券の償還による収入	366	
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,886	
無形固定資産の取得による支出	▲ 8	
定期預金の預入による支出	▲ 2,500	
定期預金の払出による収入	2,500	
施設費による収入	286	
利息及び配当金の受領額	1	

【投資活動】
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲16億円

III 財務活動によるキャッシュ・フロー		▲ 988
長期借入れによる収入	549	
長期借入金返済による支出	▲ 579	
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 954	
利息の支払額	▲ 4	

【財務活動】
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲10億円

IV 資金に係る換算差額	-	
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	▲ 1,227	
VI 資金期首残高	5,280	
VII 資金期末残高 (V + VI)	4,053	

令和5年度キャッシュ増加額
▲12億円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期未処分利益	1,101
当期総利益	1,101

II 利益処分類	1,101
目的積立金	0
積立金	1,101

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	41,440	40,708	▲ 732	
運営費交付金	7,974	8,112	138	
道費補助金	411	335	▲ 76	(※1)
自己収入	29,757	29,013	▲ 744	
授業料及び入学検定料収入	821	804	▲ 17	(※2)
附属病院収入	27,156	27,060	▲ 96	(※3)
雑収入	1,780	1,149	▲ 631	(※4)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,003	864	▲ 139	(※5)
長期借入金収入	554	548	▲ 6	
目的積立金取崩	1,741	1,836	95	(※6)
支出	41,440	41,507	67	
業務費	39,244	39,255	11	
教育研究経費	2,113	2,280	167	(※7)
診療経費	19,074	19,848	774	(※8)
人件費	17,378	16,599	▲ 779	(※9)
一般管理費	679	528	▲ 151	(※10)
施設整備費	872	869	▲ 3	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	744	801	57	(※11)
長期借入金償還金	580	582	2	
収入－支出	-	▲ 799	▲ 799	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う補助金の減等により、予算額に比して決算額が76百万円減少しました。
- ※2) 大学院在籍者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が17百万円減少しました。
- ※3) 入院、外来患者数の減により、予算額に比して決算額が96百万円減少しました。
- ※4) 新型コロナウイルス感染症関連補助金の減等により、予算額に比して決算額が631百万円減少しました。
- ※5) 寄附金及び受託研究の経費執行額の減により、予算額に比して決算額が139百万円減少しました。
- ※6) 事業実施額の増により、予算額に比して決算額が95百万円増加しました。
- ※7) 報酬・委託手数料により、予算額に比して決算額が167百万円増加しました。
- ※8) 医薬材料費の増等により、予算額に比して決算額が774百万円増加しました。
- ※9) 教職員人件費や退職手当の減等により、予算額に比して決算額が779百万円減少しました。
- ※10) 光熱水費の減等により、予算額に比して決算額が151百万円減少しました。
- ※11) 受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が57百万円増加しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

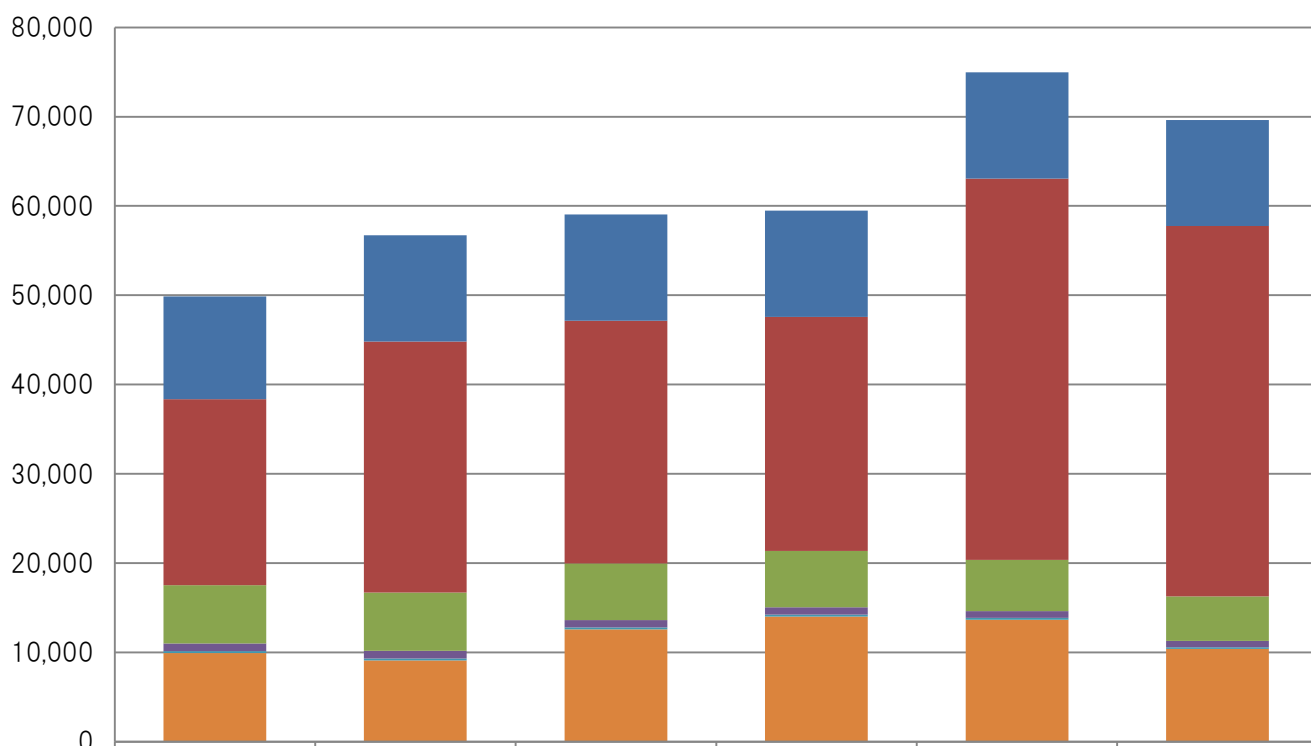
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	499	567	590	595	750	696	P 9 ～ P 10
		うち固定資産	400	476	465	455	613	592	
		負債	144	145	157	159	152	115	
		うち借入金	16	16	15	14	15	14	
		純資産	355	422	434	435	598	581	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	345	360	368	380	393	407	P 11 ～ P 12
		うち人件費	156	158	160	161	165	166	
		経常収益	343	357	388	392	397	386	
		うち運営費交付金	66	65	69	62	69	78	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	5	▲ 1	20	21	8	11	P 13
		目的積立金	-	-	18	17	3	0	
		繰越積立金	-	▲ 1	-	-	-	-	
		積立金	5	-	2	3	5	11	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	260	276	283	292	306	316	P 14
		業務収益	257	272	301	303	304	295	
		業務利益	▲ 3	▲ 4	17	11	▲ 1	▲ 21	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	14	11	39	27	17	14	P 15
		投資活動	▲ 11	▲ 7	▲ 12	▲ 4	▲ 17	▲ 16	
		財務活動	▲ 8	▲ 9	▲ 9	▲ 10	▲ 10	▲ 10	
		資金期末残高	38	33	51	64	53	41	

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産



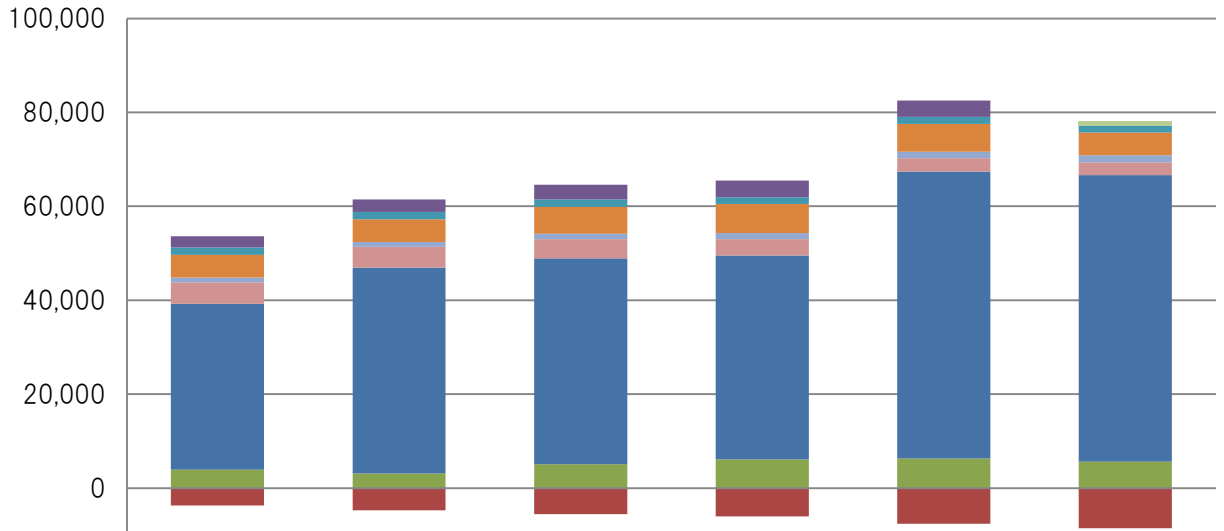
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
■土地	11,535	11,881	11,881	11,881	11,881	11,881
■建物	20,839	28,130	27,202	26,209	42,724	41,462
■設備	6,509	6,524	6,327	6,337	5,730	4,996
■図書	854	857	833	797	762	734
■その他	224	211	223	231	203	164
■流動資産	9,921	9,107	12,571	14,007	13,659	10,388

【令和5年度】

(単位：百万円)

区分		構成比	資産説明	前年度との比較		
				増減	特記事項	
固定資産	土地	土地	17.1%	・敷地 ・グラウンド	0	
	設備建物	建物	59.6%	・校舎、研究所 ・病院 ・学生寮 ・ファミリーハウス	▲ 1,262	・減価償却費による減▲1,808 ・道無償譲渡(構築物)による増343 ・建物改修による増185
		設備	7.2%	・実験、診療器具 ・車両運搬具	▲ 734	・減価償却費による減▲2,284 ・新規取得による増1,553
	図書等	図書	1.1%	・書籍 ・雑誌(製本済みのもの)	▲ 28	・除却による減▲33 ・図書取得による増4
		その他	0.2%	・建設仮勘定 ・特許権 ・意匠権 ・長期貸付金	▲ 39	・減価償却による減▲25
流動資産	流動資産	14.9%	・現預金、有価証券(1年以内) ・未収附属病院収入 ・未収学生納付金収入 ・病院医薬品在庫	▲ 3,271	・目的積立金取崩による減▲1,227 ・基金・国保未収分の減▲134 ・医薬品・診療材料の在庫量の減▲45	

負債・純資産



▲ 20,000

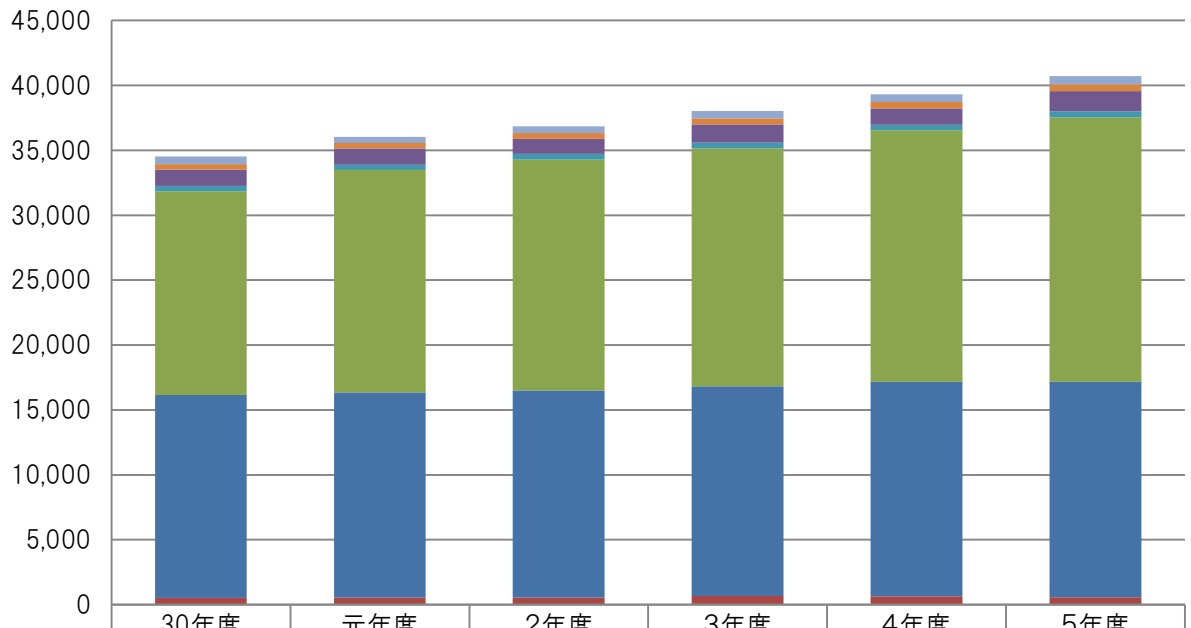
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
■ 資産見返負債	2,334	2,632	3,136	3,517	3,493	0
■ 長期繰延補助金等	0	0	0	0	0	1,031
■ 借入金	1,583	1,608	1,549	1,427	1,478	1,432
■ 未払金	4,837	4,805	5,780	6,217	5,981	4,843
■ 寄附金債務	1,053	1,028	1,107	1,298	1,314	1,519
■ その他債務	4,541	4,426	4,097	3,477	2,901	2,706
■ 資本金	35,328	43,825	43,825	43,401	61,021	61,021
■ 資本剰余金	▲ 3,716	▲ 4,735	▲ 5,571	▲ 5,984	▲ 7,585	▲ 8,545
■ 利益剰余金	3,922	3,120	5,113	6,109	6,353	5,618

【令和5年度】

(単位：百万円)

区分			構成比	負債・純資産説明	前年度との比較		
					増減	特記事項	
負債	見返負債	資産見返負債	0.0%	・ 建築設備取得に使用した交付金、授業料、寄附金の減価償却費を除いた残高	▲ 3,493	・ 会計基準改訂の処理による減 〔臨時利益で収益計上▲2,165 長期繰延補助金へ移行▲1,327〕	
	長期繰延	長期繰延補助金等	1.5%	・ 建築設備取得に使用した補助金の減価償却費を除いた残高	1,031	・ 資産見返負債からの移行分1,327 ・ 新規購入による増9 ・ 減価償却による減▲297	
	借入金	借入金	2.1%	・ 大学病院の借入金残高(機器整備)	▲ 46		
	その他負債	未払金	未払金	7.0%	・ 令和6年4月支払の経費	▲ 1,138	・ 翌年度以降支払予定の未払金の減▲1,138
		寄附金債務	寄附金債務	2.2%	・ 繰越して使用予定の寄附金	205	・ 寄附金債務の増205
		その他債務	その他債務	3.9%	・ 繰越して使用予定の交付金 ・ 繰越して使用予定の受託研究費 ・ 預り科学研究費補助金等	▲ 195	・ 長期未払金の減▲177 ・ 運営費交付金債務の減▲45 ・ 受託等債務の増26
純資産	資本金	資本金	87.6%	・ 法人移行時に道から土地・建物等の現物で受けた出資金	0		
	資本剰余金	資本剰余金	▲ 12.3%	・ 施設費や目的積立金による固定資産の取得額 ・ 当期の損益外減価償却累計額	▲ 960	・ 減価償却費による減▲1,766 ・ 資産取得による増815	
	利益剰余金	利益剰余金	8.1%	・ 繰越積立金(第1・2期分) ・ 未処分利益(当期総利益)	▲ 735	・ 目的積立金取崩▲1,836 ・ 当期総利益1,101	

経常費用



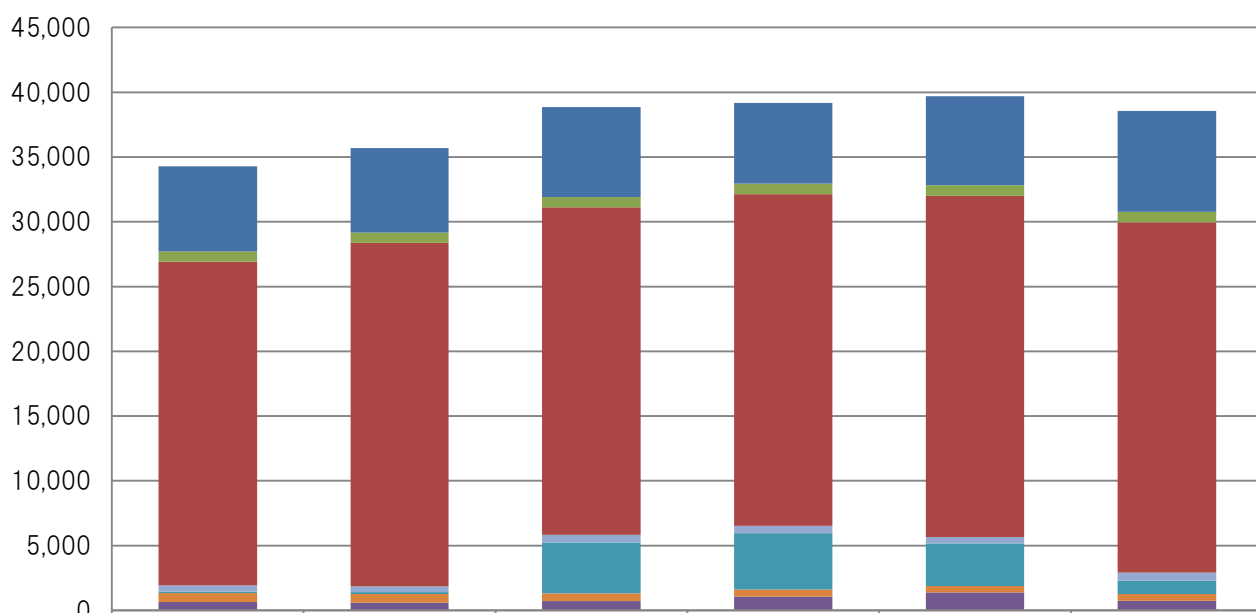
■ 教育経費	571	457	512	567	581	638
■ 教育研究支援経費	441	428	457	477	489	523
■ 研究経費	1,242	1,237	1,139	1,390	1,271	1,542
■ 受託研究費等	437	405	450	460	416	484
■ 診療経費	15,682	17,120	17,776	18,327	19,358	20,356
■ 人件費	15,615	15,817	15,956	16,127	16,535	16,589
■ 一般管理費等	536	554	556	685	653	583

【令和5年度】

(単位：百万円)

区分	構成比	費用説明	前年度との比較		
			増減	特記事項	
教育	教育経費	1.6%	・ 学生に対し行われる教育に要する経費	57	・ 減価償却費の増28 ・ 施設保守、清掃費の増12 ・ 施設実習謝金の増11
	教育研究支援経費	1.3%	・ 附属総合情報センター（図書館含む）に要する経費	34	・ 報酬・委託手数料の増22
研究	研究経費	3.8%	・ 研究に要する経費	271	・ 報酬・委託手数料の増202 ・ 施設保守、清掃費の増20
	受託研究等	1.2%	・ 外部から委託を受けて行う受託研究 ・ 民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	68	・ 報酬・委託手数料の増67
診療	診療経費	50.0%	・ 大学病院における診療の実施に要する経費	998	・ 医薬材料費の増862 ・ 機器関連費の増185 ・ 水道光熱費の減▲114
管理運営	人件費	40.7%	・ 一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等（受託に係る人件費は除く）	54	・ 給与改定による増171 ・ 看護職処遇改善手当による増47 ・ 退職手当の減▲184
	一般管理費等	1.4%	・ 管理運営に要する経費 ・ 財務費用	▲70	・ 報酬・委託手数料の減▲40 ・ 水道光熱費の減▲18

経常収益



	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
■ 交付金	6,590	6,511	6,928	6,234	6,856	7,782
■ 学生納付金	786	792	797	797	801	807
■ 病院収益	24,972	26,509	25,274	25,598	26,356	27,060
■ 受託等	493	468	601	589	503	589
■ 補助金	115	150	3,928	4,328	3,270	1,060
■ 寄附金	662	667	579	552	519	486
■ その他	668	585	737	1,073	1,374	768

【令和5年度】

(単位：百万円)

区分		構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
交付金	運営費交付金	20.2%	・ 運営費交付金収入	926	・ 交付額の増926
学納金	学生納付金	2.1%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	6	
診療	病院収益	70.2%	・ 附属病院収入 (外来・入院)	704	・ 入院診療収益の増262 ・ 外来診療収益の増448
外部資金	受託等	1.5%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	86	・ 受託研究収益の増115 ・ 受託事業収益の減▲29
	補助金	2.7%	・ 国、道等からの補助金収益	▲ 2,210	・ 新型コロナウイルス関連補助金の減▲2,224 ・ 物価高騰対策支援関連補助金の減▲269 ・ 長期繰延補助金の増297
	寄附金	1.3%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	▲ 33	・ 経費執行額の減▲33
その他	その他	2.0%	・ 研究関連収入 (間接経費) ・ 財産貸付料収入 ・ 受取利息	▲ 606	・ 資産見返戻入の廃止に伴う減▲552 ・ 雑益の減▲85 ・ 施設整備補助金の増33

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
経常収益	34,285	35,682	38,843	39,171	39,678	38,553
経常費用	34,528	36,021	36,847	38,034	39,304	40,715
経常利益	▲ 242	▲ 339	1,996	1,137	374	▲ 2,162
臨時損益	438	▲ 3	▲ 3	▲ 4	▲ 5	1,978
目的積立金取崩	0	0	0	0	439	1,285
繰越積立金取崩	276	199	0	919	-	-
当期総利益	472	▲ 143	1,993	2,051	808	1,101

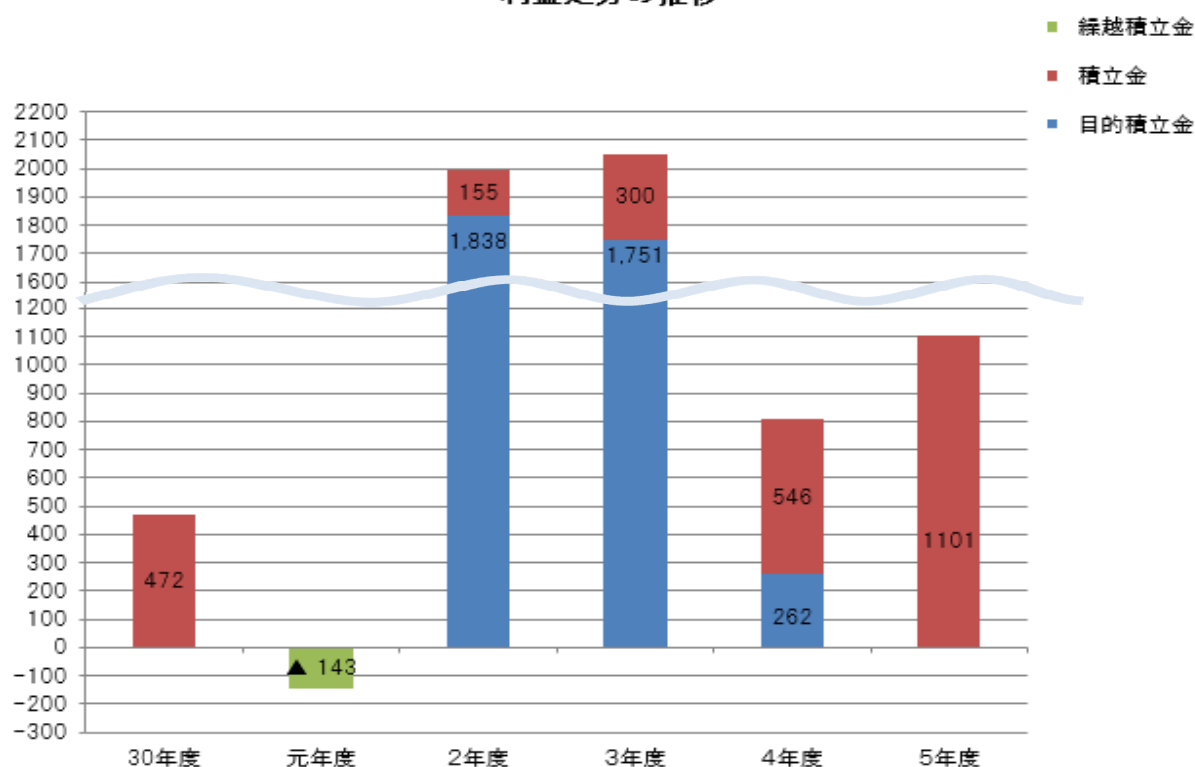
当期総利益の内訳

(単位：百万円)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
目的積立金	-	-	1,838	1,751	262	-
繰越積立金	-	▲ 143	-	-	-	-
積立金	472	-	155	300	546	1,101

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。
 当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的・繰越積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

利益処分の推移



5年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 1,101百万円	目的積立金 -	・各種収益増及び経費削減により生じる、現金の裏付けのある利益
	積立金 1,101	・減価償却などの会計処理により生じる、現金の裏付けのない利益

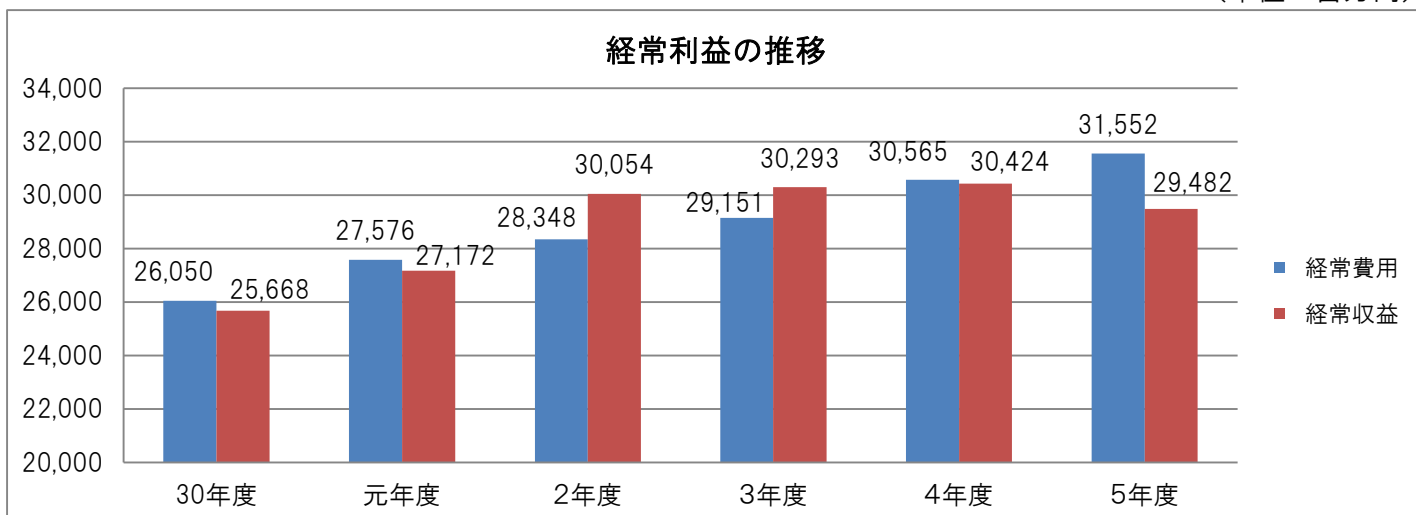
附属病院経常損益の推移

(単位：百万円)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
経常費用	26,050	27,576	28,348	29,151	30,565	31,552
経常収益	25,668	27,172	30,054	30,293	30,424	29,482
経常利益	▲ 382	▲ 404	1,706	1,142	▲ 141	▲ 2,070

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



【経常費用】

(単位：百万円)

5年度		経常費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
診療経費	20,356 64.5%	・ 診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	998	・ 医薬材料費の増862 ・ 機器関連費の増185 ・ 水道光熱費の減▲114
人件費	11,094 35.2%	・ 臨床系教員 ・ 医員、研修医 ・ 看護師、技師、事務職員	▲ 34	・ 退職手当の減▲248 ・ 給与改定による増130 ・ 看護職処遇改善手当による増47
その他	102 0.3%	・ 受託研究費、受託事業費 ・ 財務費用	22	・ 受託研究費等の増22

【経常収益】

(単位：百万円)

5年度		経常収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
病院運営 費交付金 収益	1,168 4.0%	・ 附属病院に係る交付金	604	・ 運営費交付金の受入額の増等604
病院収益	27,060 91.8%	・ 外来収益 ・ 入院収益 ・ 文書料	704	・ 入院診療収益増262 (患者数：193,622人、単価：95,992円) ・ 外来診療収益増448 (患者数：379,325人、単価：22,142円)
その他	1,253 4.3%	・ 受託研究、寄附金等の 外部資金収益	▲ 2,252	・ 新型コロナウイルス関連補助金の減▲2,108

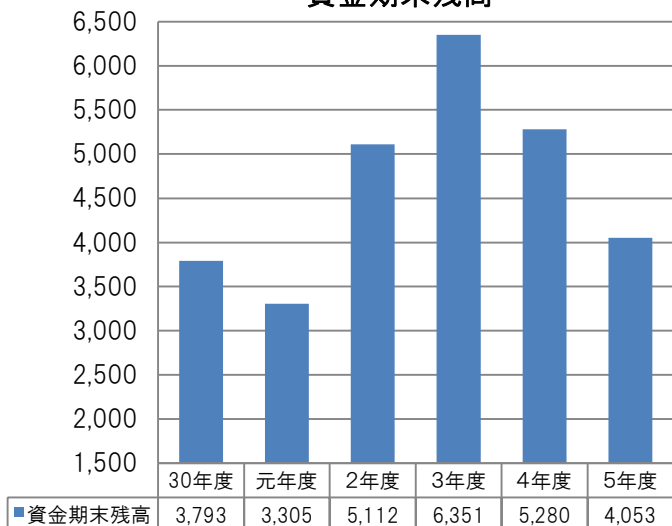
キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外） の取引に係る収入と支出の差額	1,381	1,137	3,917	2,651	1,661	1,369
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、 授業料、受託研究等、寄附金	34,308	35,666	38,451	39,447	38,493	40,022
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・ サービス購入による支出	▲ 32,928	▲ 34,529	▲ 34,534	▲ 36,796	▲ 36,832	▲ 38,653
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る 収入と支出の差額	▲ 1,105	▲ 760	▲ 1,163	▲ 378	▲ 1,739	▲ 1,608
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 1,107	▲ 761	▲ 1,163	▲ 379	▲ 1,739	▲ 1,608
	(収入) 施設費による収入、資産売却 による収入	1,093	681	372	645	708	286
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 2,201	▲ 1,442	▲ 1,535	▲ 1,024	▲ 2,447	▲ 1,894
	投資資産の取得及び売却の取引	2	1	1	1	1	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	1,859	1,849	1,348	1,852	2,853	2,867
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 1,857	▲ 1,848	▲ 1,347	▲ 1,851	▲ 2,852	▲ 2,866
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と 支出の差額	▲ 771	▲ 863	▲ 948	▲ 1,034	▲ 993	▲ 988
	(収入) 長期借入による収入	534	634	580	533	630	549
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、 ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,300	▲ 1,497	▲ 1,528	▲ 1,567	▲ 1,623	▲ 1,537
④資金 増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元 現金・当座預金・普通預金）増減額	▲ 495	▲ 487	1,806	1,239	▲ 1,071	▲ 1,227
⑤資金 期首残高	前期末現預金残高	4,288	3,793	3,306	5,112	6,351	5,280
⑥資金 期末残高	当期末現預金残高	3,793	3,306	5,112	6,351	5,280	4,053

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資金期末残高



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	増減（前年比較）	評価
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	143.0 %	129.6 %	146.6 %	149.5 %	150.5 %	126.0 %	▲ 24.5 %	高い値が良い ↓
	流動資産	9,921 百万円	9,107 百万円	12,571 百万円	14,007 百万円	13,659 百万円	10,388 百万円	▲ 3,271 百万円	
	流動負債	6,938 百万円	7,025 百万円	8,573 百万円	9,372 百万円	9,078 百万円	8,245 百万円	▲ 833 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債+資本（純資産））	71.2 %	74.4 %	73.5 %	73.2 %	79.8 %	83.4 %	3.7 %	高い値が良い ↑
	資本（純資産）	35,534 百万円	42,210 百万円	43,367 百万円	43,526 百万円	59,789 百万円	58,094 百万円	▲ 1,695 百万円	
	負債	14,348 百万円	14,499 百万円	15,669 百万円	15,936 百万円	15,168 百万円	11,531 百万円	▲ 3,637 百万円	
	負債+資本（純資産）	49,882 百万円	56,709 百万円	59,037 百万円	59,462 百万円	74,957 百万円	69,625 百万円	▲ 5,332 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	▲ 0.7 %	▲ 1.0 %	5.1 %	2.9 %	0.9 %	▲ 5.6 %	▲ 7 %	高い値が良い ↓
	経常利益	▲ 242 百万円	▲ 339 百万円	1,996 百万円	1,137 百万円	374 百万円	▲ 2,162 百万円	▲ 2,536 百万円	
	経常収益	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	38,553 百万円	▲ 1,125 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	45.9 %	44.6 %	44.0 %	43.2 %	42.8 %	41.3 %	▲ 1.4 %	低い値が良い ↑
	人件費	15,615 百万円	15,817 百万円	15,956 百万円	16,127 百万円	16,535 百万円	16,589 百万円	54 百万円	
	業務費	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	40,131 百万円	1,481 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	1.6 %	1.6 %	1.5 %	1.8 %	1.7 %	1.4 %	▲ 0.2 %	低い値が良い ↑
	一般管理費	536 百万円	554 百万円	555 百万円	685 百万円	653 百万円	580 百万円	▲ 73 百万円	
	業務費	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	40,131 百万円	1,481 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益+寄附金収益)÷経常収益	3.4 %	3.2 %	3.0 %	2.9 %	2.6 %	2.8 %	0.2 %	高い値が良い ↑
	①受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益	492 百万円	468 百万円	601 百万円	589 百万円	503 百万円	589 百万円	86 百万円	
	②寄附金収益	662 百万円	667 百万円	579 百万円	552 百万円	519 百万円	486 百万円	▲ 33 百万円	
	経常収益	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	38,553 百万円	▲ 1,125 百万円	
	外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究収益+受託事業等収益+共同研究収益+寄附金収益+科学研究費補助金)÷経常収益	4.3 %	4.2 %	4.0 %	3.9 %	3.4 %	3.6 %	
上記 ①+②	1,154 百万円	1,135 百万円	1,180 百万円	1,141 百万円	1,022 百万円	1,075 百万円	53 百万円		
科学研究費補助金	335 百万円	365 百万円	383 百万円	382 百万円	334 百万円	322 百万円	▲ 12 百万円		
経常収益	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	39,678 百万円	38,553 百万円	▲ 1,125 百万円		
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	62.8 %	64.6 %	70.3 %	71.6 %	73.4 %	75.2 %	1.8 %	低い値が良い ↓
	診療経費	15,682 百万円	17,120 百万円	17,776 百万円	18,327 百万円	19,358 百万円	20,356 百万円	998 百万円	
	附属病院収益	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	26,356 百万円	27,060 百万円	704 百万円	
1病床あたりの附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	28.8 百万円	30.3 百万円	28.9 百万円	29.3 百万円	32.3 百万円	37.0 百万円	4.7 百万円	高い値が良い ↑
	附属病院収益	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	26,356 百万円	27,060 百万円	704 百万円	
	病床数	867 床	874 床	874 床	874 床	816 床	731 床	▲ 85 床	
学生1人あたりの教育経費 【損益計算書】	教育経費÷学生数	449 千円	352 千円	386 千円	420 千円	435 千円	483 千円	48 千円	高い値が良い ↑
	教育経費	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	581 百万円	638 百万円	57 百万円	
	学生数	1,272 人	1,299 人	1,325 人	1,349 人	1,335 人	1,321 人	▲ 14 人	
教員1人あたりの研究費 【損益計算書】	研究経費÷教員数	3,074 千円	3,085 千円	2,848 千円	3,519 千円	3,185 千円	3,845 千円	660 千円	高い値が良い ↑
	研究経費	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	1,271 百万円	1,542 百万円	271 百万円	
	教員数	404 人	401 人	400 人	395 人	399 人	401 人	2 人	
教育経費対業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	1.7 %	1.3 %	1.4 %	1.5 %	1.5 %	1.6 %	0.1 %	高い値が良い ↑
	教育経費	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	581 百万円	638 百万円	57 百万円	
	業務費	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	40,131 百万円	1,481 百万円	
研究経費対業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	3.6 %	3.5 %	3.1 %	3.7 %	3.3 %	3.8 %	0.6 %	高い値が良い ↑
	研究経費	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	1,271 百万円	1,542 百万円	271 百万円	
	業務費	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	38,650 百万円	40,131 百万円	1,481 百万円	

(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えませんが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載しています。

資料編

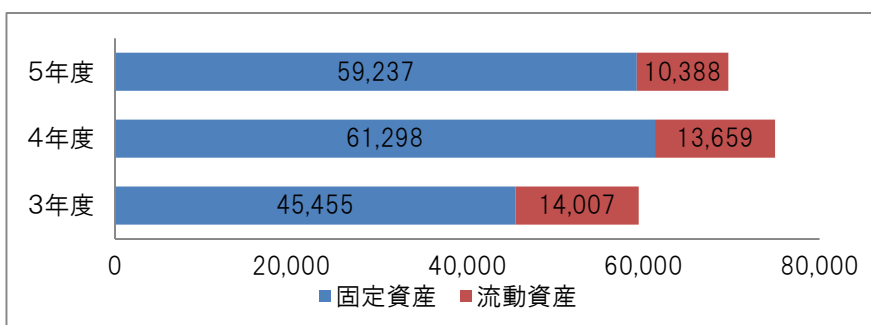
○貸借対照表

資産の部

69,625 百万円

対前年度

▲ 5,332 百万円



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

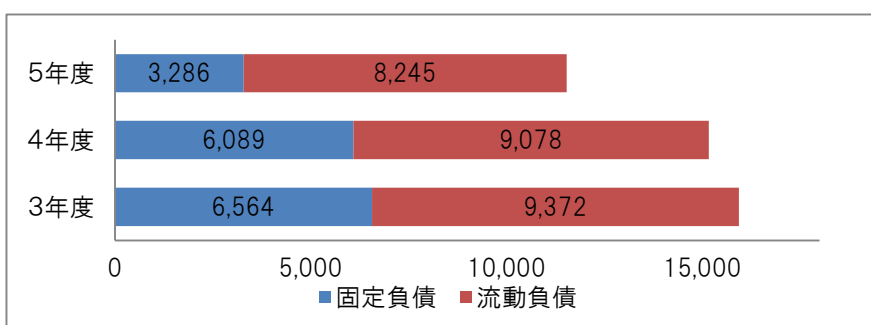
令和5年度においては、固定資産が減価償却により減少、流動資産は新型コロナウイルス関連補助金に係る未収入金の減少及び改修工事に伴う備品購入や学内ネットワーク機器の整備などの財源として、目的積立金を取り崩したことなどにより、資産が減少しています。

負債の部

11,531 百万円

対前年度

▲ 3,636 百万円



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（長期繰延補助金等）に分類できます。

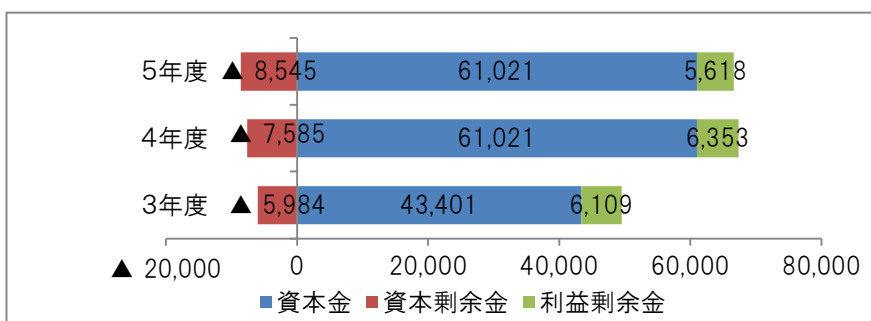
令和5年度においては、固定負債は地方独立行政法人会計基準の改訂により資産見返負債の会計処理が廃止されたことに伴い減少、流動負債は前年度に比べて、翌年度支払が減少したことから、負債が減少しています。

純資産の部

58,094 百万円

対前年度

▲ 1,695 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

令和5年度においては、資本剰余金は資産の取得により増加した一方、減価償却により減少、利益剰余金は目的積立金の取り崩しにより減少しています。

資 産

土地	11,881 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	41,462 百万円	対前年度	▲ 1,262 百万円
建設仮勘定	2 百万円	対前年度	▲ 14 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、基礎医学研究棟、附属病院、記念ホールなどの施設を有しています。

令和5年度においては、減価償却により、建物等の資産が減少しています。

工具器具備品	4,970 百万円	対前年度	▲ 729 百万円
図書	734 百万円	対前年度	▲ 28 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方、減価償却が発生していることから、減少となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	4,053 百万円	対前年度	▲ 1,227 百万円
-------	-----------	------	-------------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

令和5年度においては、目的積立金の取り崩しにより減少となっています。

未収入金	5,654 百万円	対前年度	▲ 2,017 百万円
未収学生納付金収入	2 百万円	対前年度	▲ 1 百万円
未収附属病院収入	5,170 百万円	対前年度	▲ 135 百万円
その他未収金	482 百万円	対前年度	▲ 1,881 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

令和5年度においては、新型コロナウイルス関連補助金に係る未収入金の減少に伴い、その他未収金が減少となっています。

負 債

資産見返負債	0 百万円	対前年度	▲ 3,493 百万円
長期繰延補助金等	1,031 百万円	対前年度	1,031 百万円

資産見返負債は、道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

令和5年度においては、地方独立行政法人会計基準の改訂により資産見返負債の会計処理が廃止されたことにより減少しております。また、廃止に伴い、従前、資産見返補助金で整理されていたものが長期繰延補助金等という科目に変更となりました。

借入金（固定負債）	1,432 百万円	対前年度	▲ 46 百万円
借入金（流動負債）	594 百万円	対前年度	15 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度借入れを行っています（1年据え置き4年間の償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	333 百万円	対前年度	▲ 45 百万円
----------	---------	------	----------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	1,519 百万円	対前年度	205 百万円
-------	-----------	------	---------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	4,843 百万円	対前年度	▲ 1,138 百万円
-----	-----------	------	-------------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。令和5年度においては、前年度に比べて、翌年度支払が減少したことから、未払金が減少となっています。

純 資 産

資本金	61,021 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 8,545 百万円	対前年度	▲ 960 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	5,618 百万円	対前年度	▲ 735 百万円
-------	-----------	------	-----------

業務に関連して発生した剰余金を示します。
令和5年度は当期総利益が1,101百万円となっています。

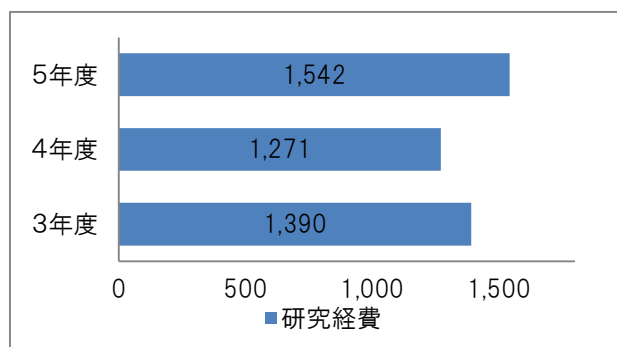
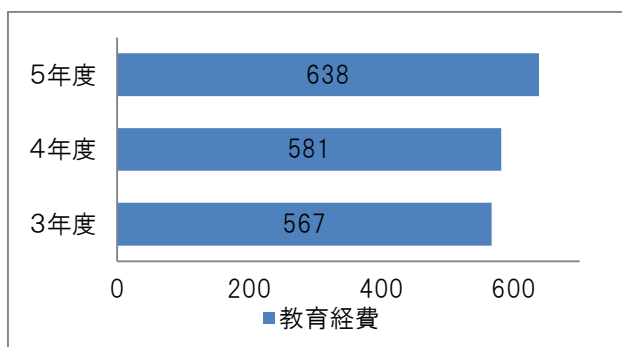
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
638 百万円 対前年度 57百万円	1,542 百万円 対前年度 271百万円

- ・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

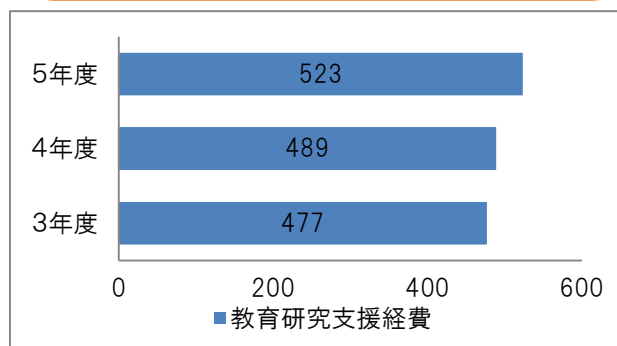
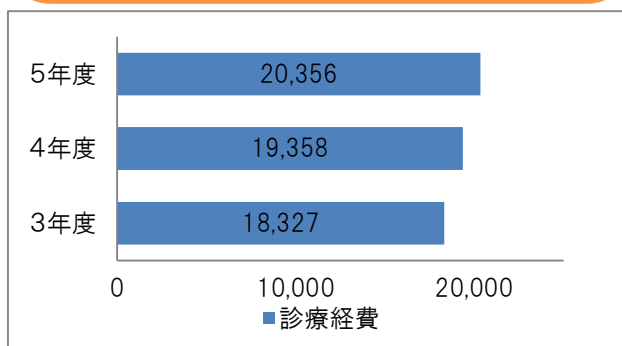
- ・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
- ・令和5年度においては、報酬・委託手数料が増加しています。



診療経費	教育研究支援経費
20,356 百万円 対前年度 998百万円	523 百万円 対前年度 34百万円

- ・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。
- ・令和5年度は医薬材料費等が増加しています。

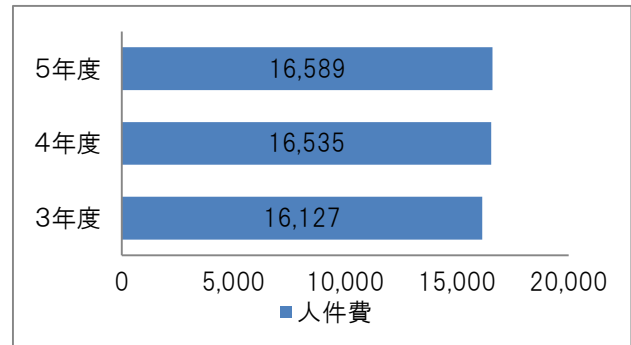
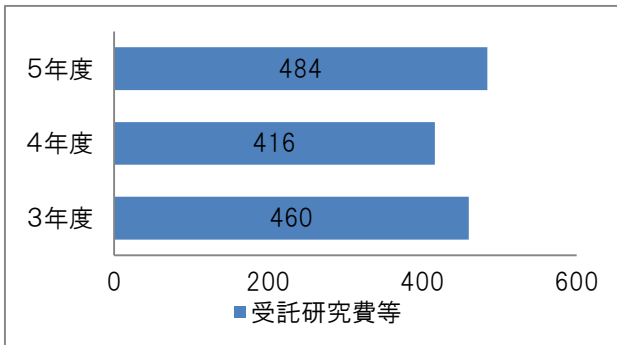
- ・附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
484 百万円 対前年度 68百万円	16,589 百万円 対前年度 54百万円

- ・ 受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

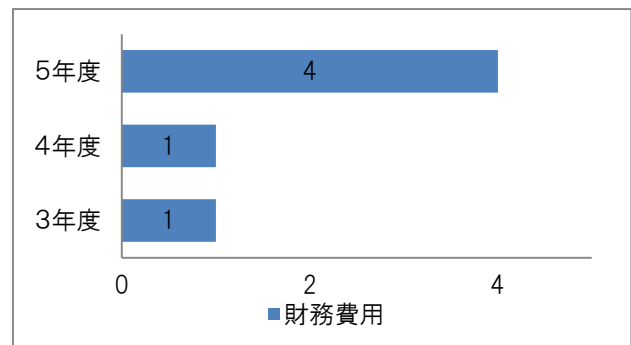
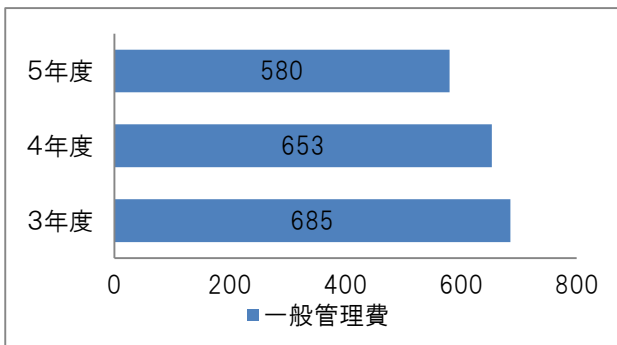
- ・ 役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
- ・ 令和5年度は給与改定の増により増加しています。



一般管理費	財務費用
580 百万円 対前年度 ▲73百万円	4 百万円 対前年度 3百万円

- ・ 大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
- ・ 令和5年度は報酬・委託手数料が減少しています。

- ・ 道からの借入金に係る利息の支払いです。

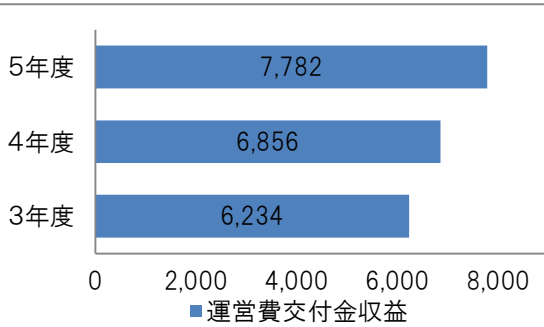


経常収益

運営費交付金収益

7,782 百万円 対前年度 926百万円

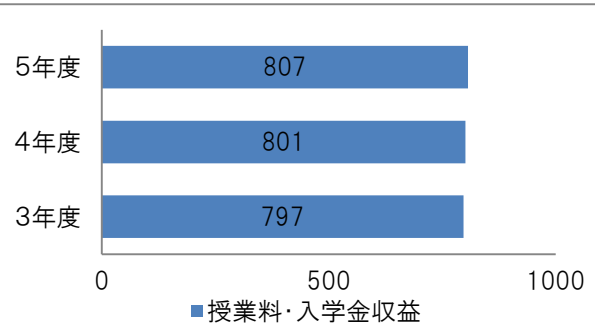
- ・大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。
- ・令和5年度は運営費交付金の交付額が増加しています。



授業料・入学金収益

807 百万円 対前年度 6百万円

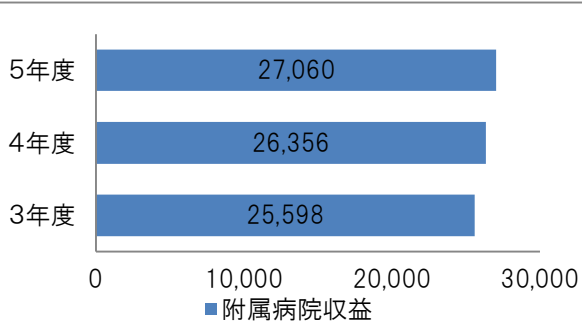
- ・授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。



附属病院収益

27,060 百万円 対前年度 704百万円

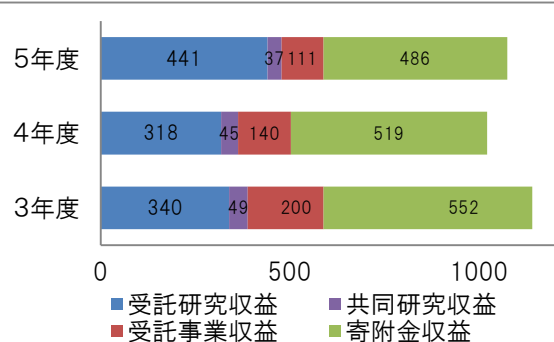
- ・病院における診療による収益です。
- ・令和5年度は、入院診療収益及び外来診療収益ともに増加しています。



受託研究・寄附金収益

1,075 百万円 対前年度 53百万円

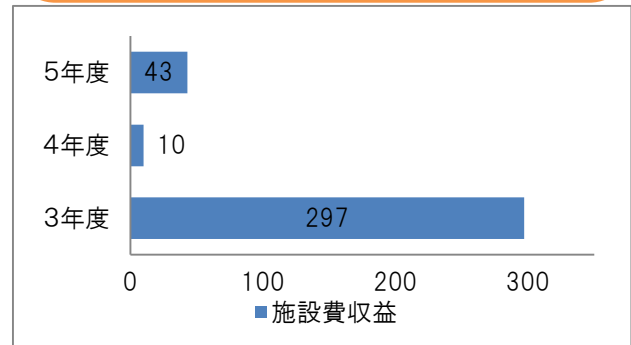
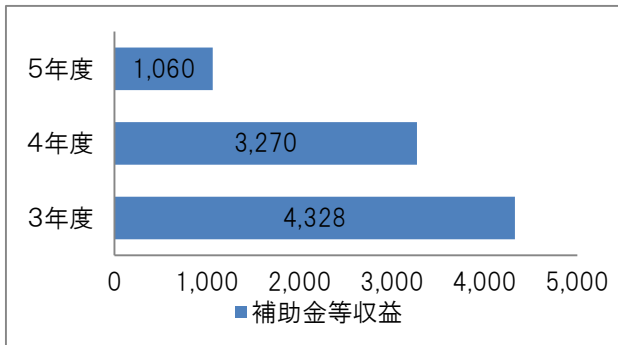
- ・受託研究、共同研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。



補助金等収益	施設費収益
1,060 百万円 対前年度 ▲ 2,210百万円	43 百万円 対前年度 33百万円

- ・国等から交付された補助金等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和5年度は、新型コロナウイルス関連の補助金が減少しています。

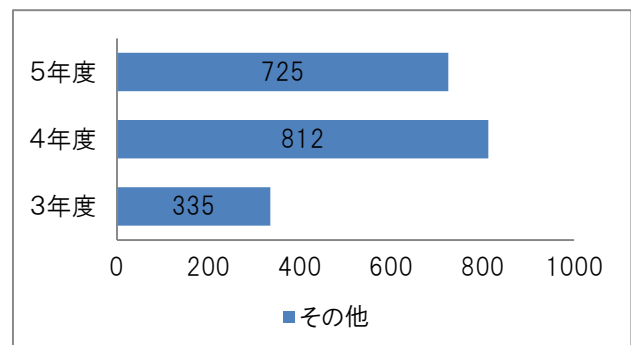
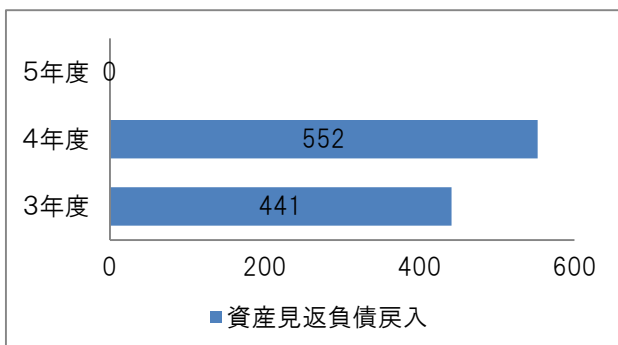
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。
- ・令和5年度は、施設整備補助金の増により増加しています。



資産見返負債戻入	その他
0 百万円 対前年度 ▲ 552百万円	725 百万円 対前年度 ▲ 87百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。
- ・令和5年度は、地方独立行政法人会計基準の改訂により廃止されたことに伴い減少となっています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。
- ・令和5年度は、特許に係る実施料の減により、減少しています。



財務報告書 2024

令和6年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室